

KENWOOD

コンパクト 3ユニット スピーカーシステム

OPM-A3

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ました。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になっ
たときに繰り返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使
用することはできません。

使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』を
お読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本機の特長

リスニングポジションを選びません

従来のステレオと違い、リスニングポジションを選びません。部屋のどこにいても、快適なステレオサウンドが楽しめます。

横に、縦に、自由なレイアウト

サブウーファーと小型サテライトスピーカーで構成されたスピーカーシステムです。付属のスタンドで3通りに組み立て。置きたい場所に合わせてレイアウトできます。

簡単にパソコンと接続できるUSB入力端子を装備

USB入力端子でパソコンとの接続が可能。デスクトップオーディオとしても最適です。



ポイントソースオーディオ、Point Source Audio
及びロゴマークは、米国Kentech社の商標です。


ステレオ音のエチケツト



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



本機の特長	2
 安全上のご注意	4
警告	5
注意	8

準備編

はじめに	12
システムの構成	12
付属品を確かめる	12
設置をする前に	13
サブウーファースの防磁とテレビについて	13
ハウリングについて	13
設置する	14
横置きで設置する	14
縦置きで設置する	16
接続する	19
サテライトスピーカーとサブウーファースを 接続する	19
外部出力機器を接続する	19
電源(ACアダプター)を接続する	20
各部の名前とはたらき	21
音の調整	22


知識編


USB端子からの音を聴く前の準備	23
ドライバのインストール	23
正しくインストールできているか確認する	24
パソコンからの音声信号が再生されるか確認する ..	24
故障かな?と思ったら	26
保証とアフターサービス	27
定格	裏表紙

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。


絵表示について


この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。


 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

 ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

 ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。


お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)


ACアダプターは交流100
ボルト以外の電圧で使用しない

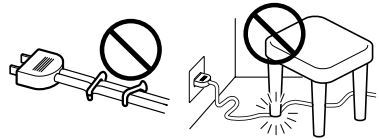
-  この機器のACアダプターは、交流100ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。


放熱に注意

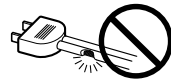
-  本体およびACアダプターは、次のような使い方をしないでください。
風通しの悪い、狭い所に押し込む。
布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

電源コードの取扱い

-  電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



-  電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



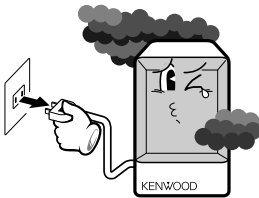
異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

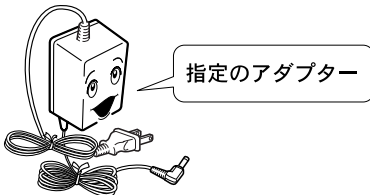
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



指定のACアダプターを使う



電源を供給するときは、機器に付属、または指定のACアダプターをお使いください。指定以外のACアダプターを使用すると、機器の故障や火災の恐れがあります。



ACアダプターのプラグは清潔に



ACアダプターの電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、ACアダプターを抜いてから乾いた布で取り除いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない



機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



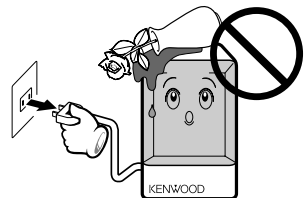
機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。

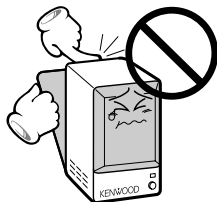
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ケースを絶対に開けないでください



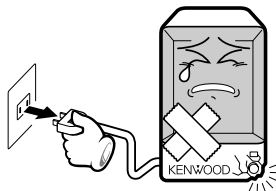
機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。



落下した機器は使わない



機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら



アンテナ線や AC アダプターの電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



⚠ 注意

風呂、シャワー室では使用しない



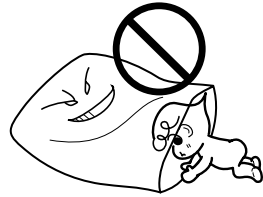
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ビニール袋に注意



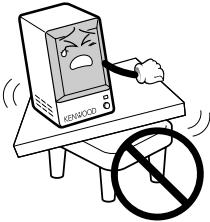
ビニール袋は子供や幼児の手の届かない所にかたづけ、かぶって遊んだりしないようご注意ください。窒息の危険があります。



不安定な場所には置かない



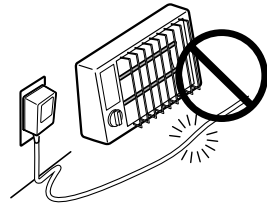
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



ACアダプターを熱器具に近付けない



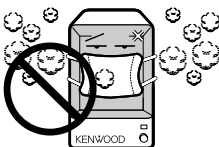
ACアダプターを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりのある場所に置かない



油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となります。



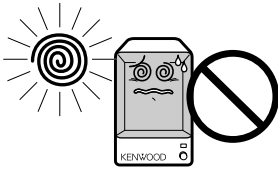
⚠ 注意

温度の高い場所には置かない



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプターの電源プラグの抜き差しは



ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



ACアダプターの電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ACアダプターの電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

必ずACプラグ本体を持って抜いてください。



ACアダプターの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、ACアダプターの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

指定以外のコードを使わない



関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

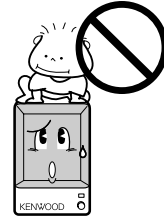
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

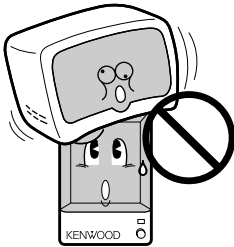


指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

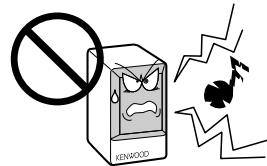


異常な音を出し続けない



スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。

発熱し、火災の原因となることがあります。



注意

音量に気をつけて

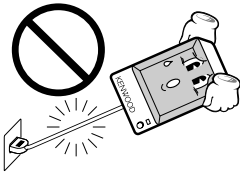


はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



お手入れの際は



お手入れの際は安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



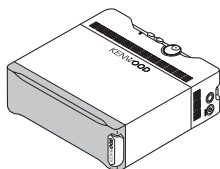
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。
販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口にて費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

はじめに

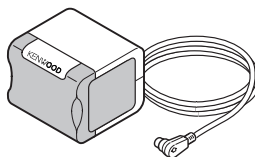
包装ケースはぜひ保管されて、修理サービスや移転などのとき、この製品を保護するためにご利用ください。

システムの構成

サブウーファー(1個)

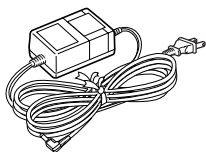


サテライトスピーカー(1個)



付属品を確認する

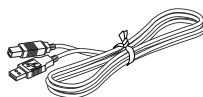
ACアダプター
(1個)



オーディオコード
(ステレオミニタイプ)
(1m・1本)



USBコード
(1.0m・1本)



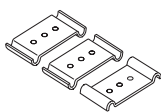
スタンド組立ネジ/
ブラケット取付用留めネジ
(4個)



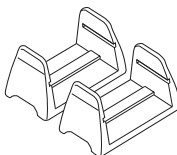
ブラケットA
(1個)



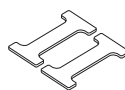
ブラケットB
(3個)



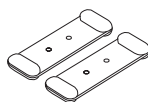
スタンド
(2個)



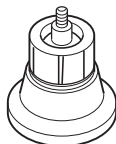
棚板
(2個)



脚
(2個)



ステイ
(1個)



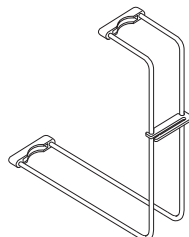
留めネジ
(1個)



ナット
(4個)



スタンドフレーム
(1個)



設置をする前に

本機は、オーディオ機器やポータブルDVD、パソコンなどのスピーカーとしてお使いいただけます。設置の仕方は、14ページからの「設置する」をご覧ください。

注意

- 本機は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから容易に抜くことができる位置に設置してください。万一、本機に異常があったときは、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 設置方法をかえる場合は電源コードを抜いてから行ってください。

サブウーファースの防磁とテレビについて

本機は、テレビとの近接使用が可能ですが、設置のしかたによっては、色むらが発生することがあります。テレビの自己消磁機能を働かせることにより、色むらを低減させることができますので、次の方法で設置してください。

1. テレビの主電源をオフにして、本機を設置してください。
 2. テレビの主電源は、本機を設置したあと30分以上たってからオンにしてください。
- それでも色むらが発生する場合、本機をテレビから離して設置してください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらが発生することがありますので、設置にご注意ください。
 - テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、本機から音が聞こえることがあります。このような場合、テレビとスピーカーを離して設置してください。

ハウリングについて

アナログレコードプレーヤーの近くに本機を設置すると、本機の音が設置面や周囲の空気を振動させ、“ポワーン”というハウリング現象が起ることがあります。

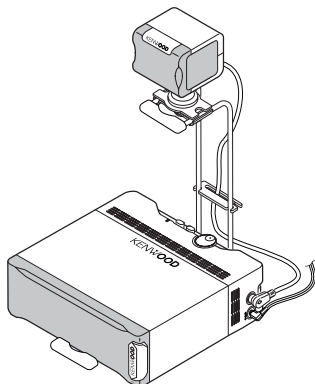
このような場合、アナログレコードプレーヤーと本機の距離を離すか、本機の音量をさげてお使いください。

ごくまれにカセットデッキや、CDプレーヤー、MDレコーダー、DVDプレーヤーでもハウリング現象により、音が歪んだり、画像が乱れることがあります。このような場合も、本機との距離を離すか、音量をさげてお使いください。

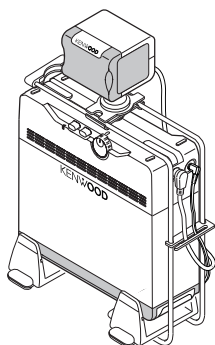
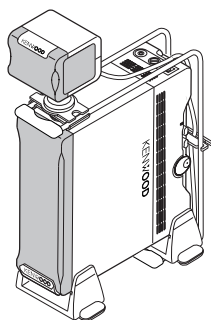
設置する

本機は、次のように設置して使用します。
サテライトスピーカーは、スタンドフレームに取り付けて使用します。
設置の方法は、それぞれの参照ページをご覧ください。

横置きで設置するとき(右記)



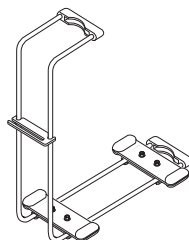
縦置きで設置するとき(16ページ)



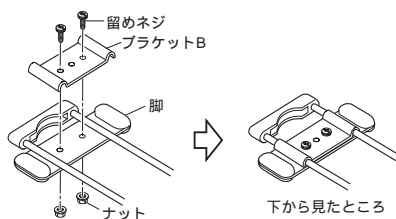
横置きで設置する

平らな場所に設置してください。

スタンドフレームを組み立てる



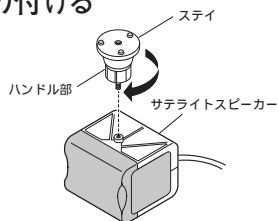
脚とブラケットBを図のように重ねて、付属の留めネジとナットでスタンドフレームに固定する



脚は、2個取り付けます。このとき、脚と脚の間隔はできるだけ離してください。

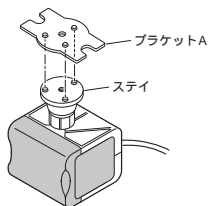
スピーカーを設置する

1 サテライトスピーカーにステイを取り付ける



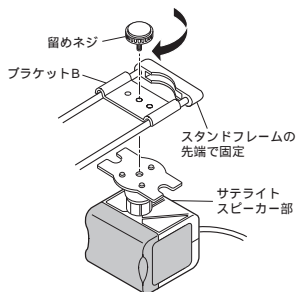
ステイのハンドル部をしっかりと固定して、ゆるみがないことを確認してから取り付けてください。

- 2** 1にブラケットAを図のように重ねて固定する



ステイの凸部とブラケットAの凹部を合わせて、はめ込みます。

- 3** サテライトスピーカー部とブラケットBを図のように重ねて、付属の留めネジでスタンドフレームに固定する

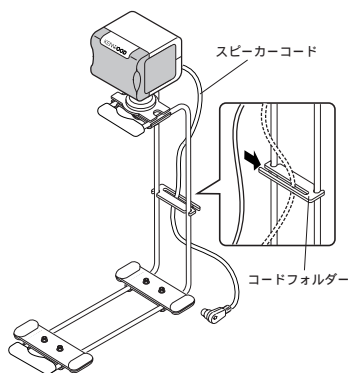


サテライトスピーカーは、スタンドフレームの先端で固定してください。

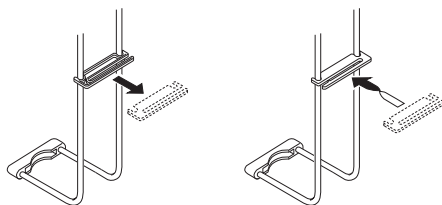
POINT

- サテライトスピーカーの向き・角度は、自由に変えることができます。調整の仕方は、18ページ「サテライトスピーカー向き・角度調整の仕方」をご覧ください。

- 4** サテライトスピーカーのスピーカーコードをコードフォルダーに通す



コードフォルダーは、取り外して上下逆に取り付け直すことができます。

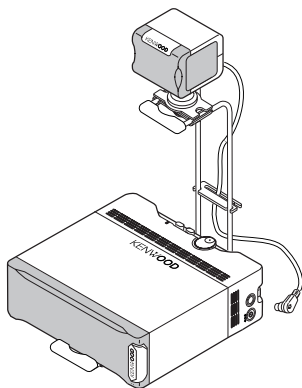


縦置きで設置する

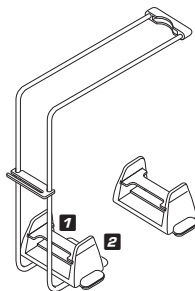
平らな場所に設置してください。

スタンドフレームを組み立てる

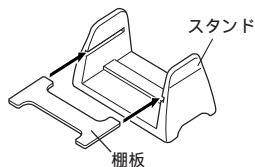
5 脚にサブウーファーを置く



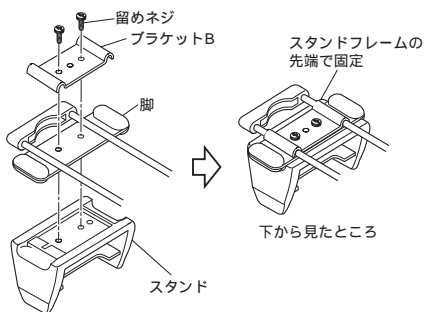
サブウーファーは、脚の上に水平に置いてください。



1 棚板をスタンドに図のようにはめ込む



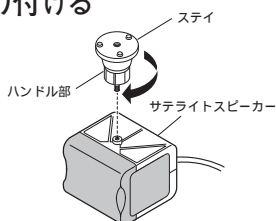
2 脚とブラケットBとスタンドを図のように重ねて、付属の留めネジで固定する



スタンドは、スタンドフレームの先端で固定してください。

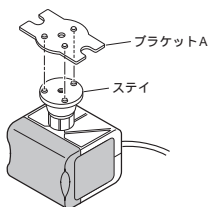
スピーカーを設置する

1 サテライトスピーカーにステイを取り付ける



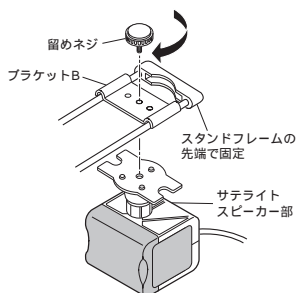
ステイのハンドル部をしっかりと固定して、ゆるみがないことを確認してから取り付けてください。

2 1にブラケットAを図のように重ねて固定する



ステイの凸部とブラケットAの凹部を合わせて、はめ込みます。

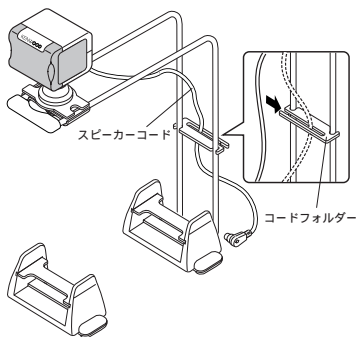
3 サテライトスピーカー部とブラケットBを図のように重ねて、付属の留めネジでスタンドフレームに固定する



POINT

- サテライトスピーカーの向き・角度は、自由に変えることができます。調整の仕方は、「サテライトスピーカー向き・角度調整の仕方」をご覧ください。

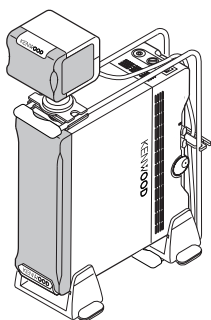
4 サテライトスピーカーのスピーカーコードをコードホルダーに通す



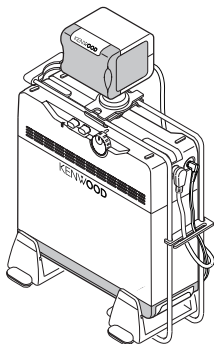
5 スタンドにサブウーファーを置く

サブウーファーの縦置き設置の仕方は下記の2通りあります。

- スピーカー面を手前にして設置する
(KENWOODロゴが右側になります。)

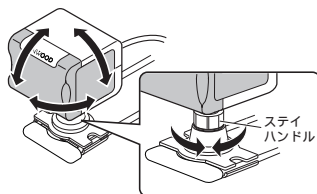


- スピーカー面を下にして設置する



サテライトスピーカー向き・角度調整の仕方

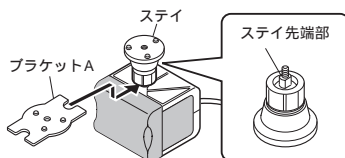
サテライトスピーカーはステイハンドルをゆるめることにより、図のように向き・角度を変えられます。好みの向き・角度にした後、ステイハンドルをしめてサテライトスピーカーを固定してください。



POINT

- サテライトスピーカーの位置調整は、必ずサブウーファーをスタンドフレームから取り外してから行ってください。

サテライトスピーカーからステイを取り外す

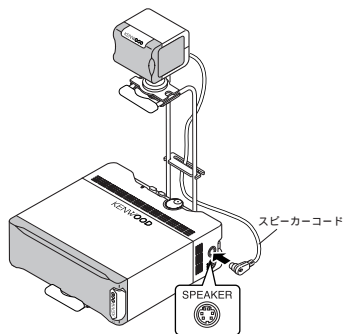


ステイをサテライトスピーカーから取り外す場合は、ブラケットAの切り欠きをステイの先端にはさんで、ブラケットAを回して取り外してください。

接続する

サテライトスピーカーとサブウーファーを接続する

サテライトスピーカーのスピーカーコードを、サブウーファーの^{スピーカー}SPEAKER端子に接続します。



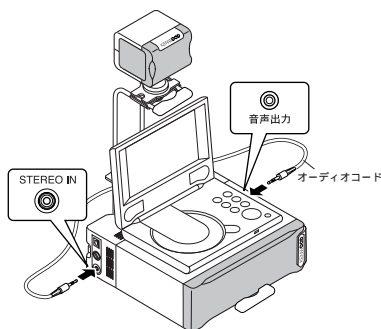
- 注意：● サブウーファーの^{スピーカー}SPEAKER端子には、付属のサテライトスピーカーコード(6ピン端子)以外のものを接続しないでください。
- サテライトスピーカーコードを本サブウーファー以外の機器には接続しないでください。

外部出力機器を接続する

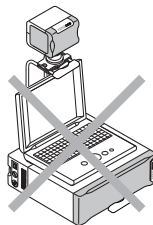
付属のオーディオコードを使用して接続する機器の音声出力端子(またはヘッドフォン出力端子)と接続したり、付属のUSBコードを使用して接続する機器のUSB端子に接続します。

接続する機器の音声出力端子とサブウーファーの^{ステレオ イン}STEREO IN端子を付属のオーディオコードで接続する場合

例：ポータブルCDやポータブルMD、ポータブルDVDプレーヤーなどを本機を通じてアンプで聴く場合



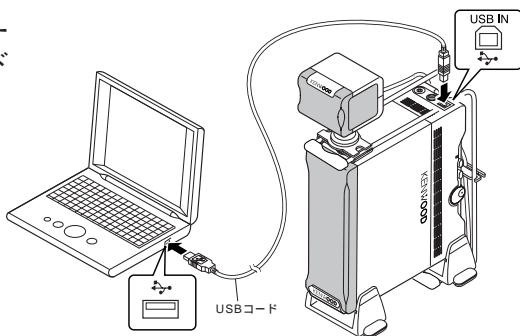
- サブウーファーの上に、ノートパソコンを載せての使用はお止めください。



接続する(つづき)

接続する機器のUSB端子とサブウーファアのUSB IN端子を付属のUSBコードで接続する場合

例：ノートパソコンなどUSB端子のある機器と接続する場合



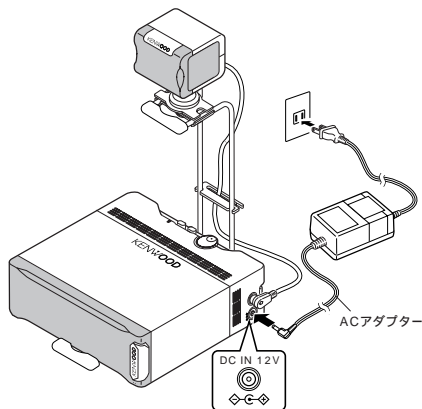
POINT

- USB機器を使用するには、接続するパソコンなどへのUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバのインストールの仕方は、23ページをご覧ください。
- 外部出力機器とアナログ接続したときは、機器の「スピーカー設定」を「2ch」(ステレオ)に設定してください。詳しくは、機器に添付の取扱説明書などをご覧ください。

電源(ACアダプター)を接続する

すべての接続が終わったら、付属のACアダプターをサブウーファアに接続します。

注意：ACアダプターを接続するときは、POWERボタンをSTANDBY位置にしてください。POWERボタンをオンにしたままACアダプターを接続すると故障の原因になります。

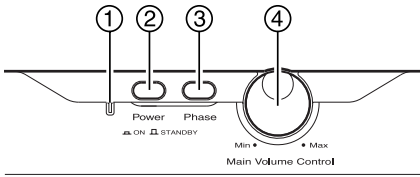


POINT

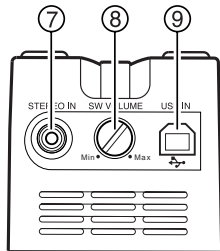
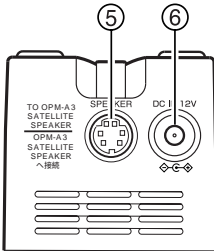
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源プラグを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと誤動作または破損の原因となります。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

各部の名前とはたらき

サブウーファー



KENWOOD



- ^{パワー} Power インジケーター
電源をオンにすると点灯します。
- ^{パワー} Power ボタン
電源をオンまたはスタンバイにするときに押します。
- ^{フェーズ} Phase ボタン
位相を切り換えるときに押します。
□ : 正相
⊖ : 逆相
- ^{メイン ボリューム コントロール} Main Volume Control (メインボリューム) つまみ
サブウーファーとサテライトスピーカーの音量を、同時に調整するときに回します。
- ^{スピーカー} SPEAKER 端子
付属のサテライトスピーカーのスピーカーコードを接続します。
- ^{ディジーイン} DC IN 端子
付属のACアダプターを接続します。
- ^{ステレオ イン} STEREO IN 端子
付属のオーディオコードを接続します。
- ^{サブウーファー ボリューム} SW VOLUME (サブウーファーボリューム) つまみ
サブウーファーの音量を調整するときに回します。
- ^{ユーエスビーイン} USB IN 端子
付属のUSBコードを接続します。

POINT

過大な入力力で本機を使用すると、音質をそこねたり、また故障の原因になることがあります。次のことに十分ご注意ください。

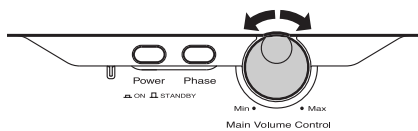
- 接続した機器のトーンコントロールやラウドネスコントロールなどを使って低音域のレベルを大幅にあげた状態で、大出力でご使用にならないでください。
- 接続した機器のスイッチを切り換えるときは、メインボリュームの音量を最小にしてください。
- メインボリュームの音量を絞った状態で、サブウーファーの音量を上げて音は出力されません。メインボリュームの音量を上げてから、サブウーファーの音量を上げてください。

音の調整

音の調整は、本機を設置する部屋の状況や設置する場所、使用する他のスピーカーの特性に合わせて、音量と位相が調整できます。通常聴く位置で自然な低音域再生になるように調整してください。

音量の調整(メインボリューム、サブウーファーボリューム)

メインボリュームコントロール(Main Volume Control (メインボリューム))とSW VOLUME (サブウーファーボリューム)のつまみを回して、サテライトスピーカーとサブウーファースの音量のバランスがとれるように調整します。

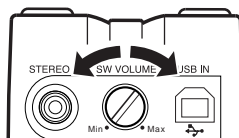


KENWOOD

メインボリューム

POINT

- サテライトスピーカーの音量だけを調整することはできません。また、メインボリュームを絞った状態でサブウーファーボリュームの音量を上げても、音は出力されません。

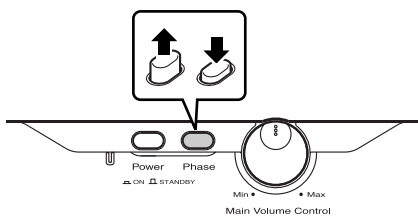


サブウーファーボリューム

位相の切り換え

次のようなときに、Phase^{フェーズ}ボタンを押して位相を切り換えます。

- サテライトスピーカーと本機の間隔が不自然な低音域再生に聞こえるとき
- 部屋や設置場所の影響で通常聴く位置での音量が不自然に小さくなる時



KENWOOD

USB端子からの音を聴く 前の準備

USB端子を使って初めて本機とパソコンを接続したときだけドライバのインストールが必要です。ドライバのインストールはパソコンを操作して行います。

接続するパソコンの条件

USB端子を持ち、Pentium® MMX 200 MHz以上でWindows®98 SEがインストールされていて正常に動作するパソコンを推奨。USB規格Ver.1.0に準拠。

本機の動作環境

サンプリング周波数は、48kHz、44.1kHz、32kHzに対応しています。
また、16bitステレオ及びモノラルデータが受信可能です。

ドライバをインストールする前に

Windows®98 SE日本語版が、正しく起動できることを確認してください。

本機に対応するソフトウェアドライバはWindows®98 SEに標準添付されていますので、Windows®98 SEのCD-ROMが必要になる場合があります。あらかじめWindows®98 SEのCD-ROMを用意しておいてください。

また、CD-ROMドライブも使用できることを確認してください。(Windows®98 SEプリインストールモデルでは、ハードディスクの中に用意されていることもあります)インストールする前に、パソコンのBIOS設定の次の項目を確認してください。

- USB機能が「使用する」に設定されている。
- USB IRQが「AUTO」または使用可能なIRQ番号に設定されている。

上記の設定が正しく行われていないと、本機が正しく認識されず、動作しないことがあります。

POINT

- パソコン本体、マザーボードによっては上記の設定項目がないものもあります。設定項目の有無や設定方法については、パソコン本体またはマザーボードの取扱説明書をご覧ください。

ドライバのインストール

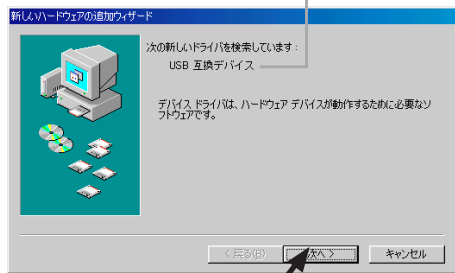
1 パソコンの電源を入れ
Windows®98 SEを起動する

2 本機の電源を入れ、USBケーブルを使ってパソコンと接続する
(20ページ参照)

自動的に本機が検出されます。パソコンが本機を検出中は、USBケーブルを抜き差ししないでください。数秒間待っても本機が検出されないときは、USBケーブルをもう一度接続し直します。それでも検出されないときは、Windows®98 SEを再起動します。

3 画面の指示にしたがってインストールする

USB互換デバイス、またはUSBオーディオデバイスと表示されます。



[次へ] をクリックしていきます。
[次へ] がクリックできないときやパソコンの画面に指示が出ているときは、その指示にしたがった操作をしてください。

必要条件を満たすパソコンでも、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。

正しくインストールできているか確認する

「USB オーディオデバイス」、「USB 互換デバイス」がインストールされていることを確認します。

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] を開く

パソコンによっては、BIOS設定にて、USBを有効にする必要があります。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 2 各項目の「+」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」項目の中に「USB オーディオデバイス」があること、「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」項目の中に「USB 互換デバイス」があることを確認してください。



POINT

- インストールした2種類のUSB デバイスは、本機の電源が入っていてUSB ケーブルで接続しているときだけ「デバイスマネージャ」に表示されます。本機を接続していないときは、「デバイスマネージャ」には表示されないのをご注意ください。

パソコンからの音声信号が再生されるか確認する

- 1 本機の音量を適当な音量に合わせる

- 2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [サウンド] を開く

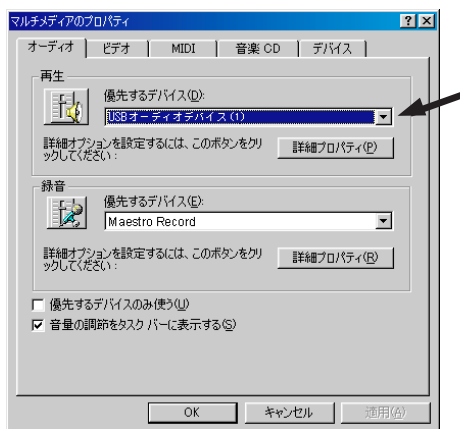
- 3 「Windows の起動」を選んでから、再生ボタンをクリックする



本機から「Windows の起動」音が聞こえてくれば、ドライバのインストールは終了です。

「Windows の起動」音が聞こえてこないときは、次のことを確認してみてください。

- [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を開き、「優先するデバイス」が「USBオーディオ デバイス」になっているか確認します。「USB オーディオ デバイス」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USBオーディオ デバイス」を選びます。



参考：他のサウンドカードから音を出するときもここを変更します。

- [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[ボリュームコントロール]を開き、音量が最小になっていたり、「ミュート」をクリックマークがついていないかを確認します。音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート」をクリックマークが付いているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずします。

使用中に問題があるときは、次のことを確認してみてください。

本機が認識されない：

- USB ケーブルで本機とパソコンをしっかりと接続します。
- USBハブを使って接続しているときは、ハブが正しく動作しているか確認してください。または接続するポートを変えてみてください。

音が出ないまたは小さい：

- ボリュームコントロールの設定が違ってないか、優先するデバイス、ミュートを確認してください。

音が途切れる：

- 音声出力中、CPU に負担のかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。
- 音声出力中に他のUSB ケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、他の機器のUSBケーブルを抜き差ししないでください。

雑音が多い：

- 本機が強い電磁波を発生するもの(テレビなど)の近くに置かれていると雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。

Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Windows98の正式名称はMicrosoft Windows98 operating systemです。

Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックして見てください。

症状	原因	処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 接続コードがしっかりと差し込まれていない。● SPEAKER端子に付属のサテライトスピーカーコード以外のもの(パソコンのキーボード端子またはマウス端子など)が接続されている。● Main Volume Controlつまみ<small>メイン ボリューム コントロール</small>がMin(最小)になっている。	<ul style="list-style-type: none">● 「接続する」(19ページ)をみて正しく接続し直す。● 付属のサテライトのスピーカーコードを接続する。● Main Volume Controlつまみ<small>メイン ボリューム コントロール</small>を回して、適当な音量にする。
サブウーファースの音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● SW VOLUMEつまみ<small>サブウーファー ボリューム</small>がMin(最小)になっている。	<ul style="list-style-type: none">● SW VOLUMEつまみ<small>サブウーファー ボリューム</small>を回して、適当な音量にする。
音が小さい。	<ul style="list-style-type: none">● 位相の選択が適切ではない。	<ul style="list-style-type: none">● Phaseボタン<small>フェーズ</small>を押して位相を切り換えてみる。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付）

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みした後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。（お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品の、製造打ち切り後、8年保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをご知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の箇所 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -

定格

形式 アンブ内蔵、
防磁形アクティブスピーカーシステム

オーディオ部

実用最大出力

サブウーファー 10 W/200 Hz(EIAJ, 4 Ω)

サテライトスピーカー

レフト・ライト... L-R入力 3 W×2/1 kHz(EIAJ, 8 Ω)

センター L+R入力 3 W/1 kHz(EIAJ, 8 Ω)

入力端子(感度/インピーダンス)

STEREO IN端子 600 mV/14 kΩ

フェイズ切り換え 正相/逆相

スピーカー部

エンクロージャー パスレフ型

サブウーファー

スピーカーユニット 64 mm×160 mm×1

(長円コーン型ウーファー)

定格インピーダンス 4 Ω

サテライトスピーカー

スピーカーユニット 40 mm×3

定格インピーダンス 8 Ω

電源部・その他

付属ACアダプター

(100V AC, 50/60 Hz) DC12V

最大外形寸法

横置き時(サテライトスピーカー、

スタンド含む) 幅 238 mm

高さ386 mm

奥行257 mm

縦置き時(サテライトスピーカー、

スタンド含む、^{サブウーファー}SWスピーカー面

を前で使用时) 幅 116 mm

高さ386 mm

奥行257 mm

縦置き時(サテライトスピーカー、

スタンド含む、^{サブウーファー}SWスピーカー面

を下で使用时) 幅 257 mm

高さ386 mm

奥行116 mm

質量(重量) 2.3 kg(正味)

(サテライトスピーカー、

スタンドを含む)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター(東京) 電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

カスタマーサポートセンター(大阪) 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。